

要素訓練結果報告の概要

1. 訓練の目的

本訓練は、予め定められた原子力災害時における応急対策または復旧対策等に関する手順の検証および習熟を行うとともに、体制、資機材の取扱いおよびその実効性について改善を図るものである。

2. 実施日および対象施設

(1) 実施日

平成25年11月24日（日）～平成26年8月8日（金）

（訓練ごとの実施日については、「添付資料」のとおり。）

(2) 対象施設

東通原子力発電所 1号機

3. 実施体制、評価体制および参加人数

(1) 実施体制

訓練ごとに実施責任者を設け、実施担当者が訓練を行う。

詳細は、「添付資料」のとおり。

(2) 評価体制

定められた手順どおりに訓練が実施されたかを実施責任者が評価する。

(3) 参加人数

「添付資料」のとおり。

4. 原子力災害想定の概要

(1) 緊急被ばく医療訓練

管理区域内で傷病者が発生した状態を想定。

(2) 避難誘導訓練

a. 原子力災害に発展する可能性のある事態において、原子力災害対策活動に従事しない職員が発電所事務本館ならびに協力企業事務所にいることを想定。

b. 原子力災害に発展する可能性のある事態において、見学者が発電所事務本館に滞在している事態を想定。

(3) 電源機能等喪失時対応訓練

全交流電源喪失、原子炉除熱機能喪失および使用済燃料プール除熱機能喪失の状態を想定。

5. 防災訓練の項目

要素訓練

6. 防災訓練の内容

- (1) 緊急被ばく医療訓練
- (2) 避難誘導訓練
- (3) 電源機能等喪失時対応訓練

7. 訓練結果の概要（添付資料参照）

(1) 緊急被ばく医療訓練

管理区域内で汚染を伴う傷病者が発生した場合において、所内における通報連絡、応急処置および搬送訓練を実施した。

(2) 避難誘導訓練

原子力災害対策活動に従事しない発電所事務本館および協力企業事務所の職員ならびに発電所事務本館見学者に対して、避難誘導を実施した。

(3) 電源機能等喪失時対応訓練

- a. 全交流電源喪失、原子炉除熱機能喪失および使用済燃料プール除熱機能喪失を踏まえた緊急安全対策の各対策について、個別に緊急時対策要員による訓練を実施した。
- b. 訓練にあたり、本設機器へ直接影響が生じる手順は模擬とし、現場での動作確認および机上での手順確認を実施した。

8. 訓練の評価

各要素訓練について定められた手順どおりに訓練が実施されていることを確認できた。訓練ごとの評価結果は、「添付資料」のとおり。

9. 今後に向けた改善点

各要素訓練における当該期間中の改善点および今後に向けた改善点は、「添付資料」のとおり。

以 上

〈添付資料〉要素訓練の概要

要素訓練の概要

1. 緊急被ばく医療訓練（訓練実施日：平成25年11月27日，参加人数：21名）

概要	実施体制 (①実施責任者，②実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後に向けた改善点
緊急被ばく医療訓練	①総務課長 ②総務課員	良	—	今回の訓練では公設消防の救急車の養生訓練を実施したが，通常，訓練を実施している当社所有の患者搬送車とは車内の構造が違うことなどから養生に時間を要したため，今後，公設消防との勉強会を通じて時間短縮を図っていく。
汚染を伴う傷病者が発生した場合の所内における通報連絡，応急処置および搬送訓練を実施				

2. 避難誘導訓練（訓練実施日：平成25年12月10日，参加人数：59名）

概要	実施体制 (①実施責任者，②実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後に向けた改善点
避難誘導訓練	①総務課長 ②総務課員	良	見学対応者の懐中電灯携行	これまでの訓練時における所内放送ならびに電話連絡（PHS）に加え，管理区域内のPHS電波の弱いエリアを考慮し，ページング等を使用した事象発生，指示の周知方法の充実を図っていく。
原子力災害対策活動に従事しない発電所事務本館および協力企業事務所の職員，ならびに発電所事務本館見学者に対して，避難誘導を実施				

3. 電源機能等喪失時対応訓練（訓練実施日：適宜反復訓練を実施（当該期間内で計137回実施），参加人数：延べ950名）

概要	実施体制 (①実施責任者，②実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後に向けた改善点
緊急時の電源確保に係る訓練	①電気保守課長または発電管理課長 ②電気保守課員，技術課員，放射線管理課員，品質保証室員，発電管理課員または協力会社作業員	良	—	—
高圧応急用発電機車および大容量電源装置等による電源確保の手順の実働訓練や机上訓練等を実施				

要素訓練の概要

概要	実施体制 (①実施責任者, ②実施担当者)	評価結果	当該期間中の改善点	今後に向けた改善点
緊急時の最終的な除熱機能の確保に係る訓練 消防車による原子炉への代替注水等の実働訓練やライン構成等の一連の動作確認を現場にて実施	①機械保修課長または発電管理課長 ②機械保修課員, 発電管理課員, 土木建築課員または協力会社作業員	良	ホース敷設作業の省力化のため, 水源確保ルートの一部について, ホースの常設化工事を実施	ホース敷設時に消防ホースが道路にはみ出して車両に踏まれる可能性がある場所については, ガードレール等に固縛する。
緊急時の使用済燃料プールの冷却確保に関する訓練 消防車による使用済燃料プールへの注水等の実働訓練を実施	①機械保修課長 ②機械保修課員または協力会社作業員	良	上記と同様	上記と同様
その他必要な訓練 原子炉建屋のベント開放操作に係る動作確認やホイールローダによる模擬がれきを用いた実働訓練等を実施	①土木建築課長, 発電管理課長または放射線管理課長 ②土木建築課員, 発電管理課員, 放射線管理課員または協力会社作業員	良	—	—